

事業所名

ちゃれんじ元今泉教室

## 支援プログラム

作成日

2025年

2月

1日

法人（事業所）理念		健康と感動の追求、子ども達に豊かな未来を提供							
支援方針		「げんきなあいさつ」「みんななかよく」「なんでもちゃれんじ」							
営業時間		平日 土・祝・長期休暇期間	10時00分	から	19時00分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の支援の中で挨拶、返事、順番を守る、譲り合う等都度、スタッフが伝えていき社会生活のルールやマナーを身に付けられるようにする。</li> <li>調理活動を通して調理器具の使い方や様々な調理法を身に付ける。</li> </ul>							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動療育の日は毎回、どこか1か所鍛える部位を決める、または運動のテーマ(走る・跳ぶ・くぐる等)を決め、それに沿った動きが出来るようにプログラムを考え提供していく。</li> <li>各々が抱える触覚過敏に対応出来るように様々な種類の食具(木、プラスチック、ステンレス等)を用意しストレスなく食事出来るようにする。</li> </ul>							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>1日の予定やロッカー等施設の至る所に絵カードを貼り、文字とイラストを交えて表示し意味が結びつくようにする。</li> <li>学習タイムに個々の認知能力に合わせた教材(型はめや数字カード・文字カード等)を取り入れ支援をし発達を促す。</li> </ul>							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>トラブル時、なるべく子ども同士で解決を図れるようにスタッフは見守り必要に応じて仲裁に入る。解決後はスタッフと子どもと二人で振り返りをし、自他の感情や事象等を整理し言葉と結び付けられるようにする。</li> <li>未就学児や他学年児との触れ合いを通して様々な年齢の子と関わる経験を積む。</li> <li>絵カードやイラストカード等のツールを活用し周りに自分の気持ちを伝えられるようにする。</li> </ul>							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゲーム遊び中、チームで話し合いの時間を設け、意見を伝え合ったり友達と協力し合い物事を成し遂げる達成感を味わえるようにする。</li> <li>地域(買い物・公園・駅・公共施設等)に出掛ける中で見聞を広げると同時に社会での過ごし方やマナーを体験しながら学んでいく。</li> </ul>							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日の申し送り時や個別の相談を通して都度、家族の悩みや不安に耳を傾け相談支援を行う。</li> <li>定期的に交流会を開催し就学や就労に関する情報提供や保護者同士が意見交換出来る場や機会を設ける。</li> </ul>		移行支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>他の放課後等デイサービス事業所との連携を図り円滑に支援ができるようにしていく。</li> <li>希望があれば就学先と情報共有を行い、中学校・高校と連携していく。</li> </ul>			
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>学校や地域学童等と情報を共有し合い連携していく。</li> <li>児童発達支援センターや障害児通所支援事業所と連携し、情報共有や共同研修を行う。</li> </ul>		職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>学校や他事業所の見学を通して支援についての情報交換を行う。</li> <li>定期的にちゃれんじ全職員で研修会や交流会を開催し、支援の質を高める。</li> </ul>			
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>レクリエーション活動(バーベキュー・リンゴ狩り・さつまいも狩り・クリスマスパーティー等)</li> <li>体験活動(栃木県防災館・ワークショップ・消防署見学等)</li> </ul>							